

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2 月 14 日

事業所名 児童デイサービス・アニマート江戸屋

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		・下校時間や宿題の内容などで学習スペースの利用時間を調整している	事業所内には指導員の目が全体に行き届く様にする為、現在のスペース(室内)が妥当です。中庭(屋外)での活動も増やす様、検討して参ります。
	2	職員の配置数は適切である		1	4	下校時間が重なる時、手が足りない時がある。送迎順など考える。	利用者増加に伴い、指導員を募集しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		対象の利用者の状況に応じ適宜設備している。	バリアフリーを考慮した建築をしております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2	2	新人スタッフは今後、研修する。	PDCAサイクルの理解、実行の為、定期的な研修を継続していく所存でございます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2	2	今回から実施。	結果を分析し、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		1	4	今回から公開	結果集計後、ホームページ「会社概要と自己評価」で公表し年に一回更新して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	3	県庁からの実地調査ではよい評価を頂き、改善事項なかった。	常に不備が無い様、グループ会社への報告、連絡、相談を行う事を継続して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		良好	外部研修だけでなく、職員間での情報共有、各症例についてミーティングを行う事を継続して参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		良好	保護者の希望を練り込みながら、利用者にとって適切な支援計画を立てております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		実施している。	専用テンプレートを利用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	4		個別支援計画書作成時に全体会議を行い立案している。	利用者の状態把握の為のプログラム、療育の強化の為のプログラムと日々、全体で検討を継続して参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	4		個別支援計画書作成時に全体会議を行い立案している。	利用者の状態把握の為のプログラム、療育の強化の為のプログラムと日々、全体で検討を継続して参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		個別支援計画書作成時に全体会議を行い立案している。 一日のスケジュールは毎回設定している。 休日、長期休暇も細かやかに設定している。	放課後、休校日によって活動プログラムを決め、状況によって日々、検討を続けて参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		・サービス計画書は作成していないが1人1人の性格などふまえて対応を心掛けている	内容が児発管に向けた質問になっておりますが、児発管が作成したサービス計画書は全体が確認しておりますので、今後も継続して参ります。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		1	・開始前のミーティングで話し合いをする。 ・保護者へのメールでのやりとり、連絡帳へは必ず全員で目を通す(確認の為)	保護者からの事前連絡、送迎等、支援内容、利用者の確認事項など毎日、確認をしており、継続して参ります。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		2	・子供達の状況を細かく申し送りを行う。	保護者からの連絡事項、利用者の状態、学校からの申し送り等、振り返りを行い、全体で共有しております。特に問題と思われる内容は、社内LINEにより二重の確認を全職員で行っておりますので、今後も継続して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			良好	活動の内容、気になった点、保護者、利用者からの小さな情報など、記録を行っておりますので、今後も継続して参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3		児発管が定期的に行っている。	今後も継続して対応して参ります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	1	3		児発管が定期的に行っている。	今後も継続して対応して参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2		児発管が毎回、参加。	今後も継続して対応して参ります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			良好	今後も継続して対応して参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	2	現在、対象の利用者なし。	現在、対象の利用者がおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	2	保育所、保護者などから情報もらう事がある。	過去の情報はあまり必要性を感じませんが、必要であれば、聞き取りを行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	1	過去に1例あり。	障害福祉サービス事業所への移行例がほとんど無い状況ですが、必要があれば行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		3	研修参加	今後も継続して対応して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	保護者、本人の希望もあり特に交流はしていない。	発達障害の利用者が多く、他の児童に知られたくないという本人の意思も多数あり、今後の課題となっております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	1	今後、検討	検討して参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		良好	連絡帳、メール、LINE等で活動の様子などをお伝えしております、今後も適切な対応を継続して参ります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	2	必要に応じて行っている。	電話、保護者会、連絡帳、メール、LINE等で対応の仕方を提案させて頂いておりますので、今後も継続して支援して参ります。	
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		1	良好	今後も継続して対応して参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		実施している。	電話、連絡帳、メール、LINE等で個別対応。保護者会での相談など支援させて頂いておりますので、今後も継続して支援して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		2	年に1~2回実施。(毎年)保護者同士の連携を支援している。	毎年4月~6月頃、新年度が始まり一番、利用者が一番、不安定な時期に開催して、情報共有を行っております。今後も継続して参ります。

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			対応している。	今まで苦情はありませんが、適切な対応を心がけております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			発信している。	「瓦版」(活動内容)、ブログ、ホームページ、各お知らせを発行し予定、活動概要などお伝えしております。今後も継続して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	5			良好	個人が特定される書類、顔写真など一切、外部の目に触れない様、細心の注意を払っております。室内にも外部来客者の目に触れる事を意識し、掲示物にも配慮をしております。今後も継続して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			良好	今後も継続して対応して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3	現在、地域住民の招待していないが、今後、検討します。	発達障害の利用者が多く、他の児童に知られたくないという本人の意思も多数あり、今後の課題となっております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			防犯訓練に参加している。手洗い、うがいは必ず声掛けしている。	防犯、感染症マニュアルは全体での取り決めを行っており、定期的な訓練も行っております。今後も継続して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			災害時に備える各避難訓練	年に2回、必ず行っております。今後も継続して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		研修、実施しています。	今後も継続して対応して参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		同意書などの準備はできています。	これまで対象の利用者はおりませんが、身体拘束を行う条件など、社内研修を継続して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		医師の指示所はないが、保護者と状況共有しています。	これまで医師の指示まで御座いませんが、アレルギーの有無に関しては保護者から聞き取りを行っております。キッチンには利用者のアレルギー食物を個別に書き出しており、初めて食する食物には、事前に確認を行っております。今後も適切な対応を継続して参ります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		学校送迎時のヒヤリハットは、すぐに報告している。	ヒヤリハットについての報告書を義務づけております。ミーティングで情報共有し、再発を失くすための対策を必須とし、ミーティングを行っております。今後も継続して参ります。	